

「平成28年度第2回徳島市地域公共交通会議」
会議録（要約）

平成28年12月21日（水）
午前9時30分～10時10分
徳島市役所 本庁舎8階 庁議室

欠席者 0人、傍聴者 0人

1 開会

2 会長あいさつ

（豊井第二副市長）

3 委員の紹介

3名の委員が交代したため、新しい委員を紹介

4 協議事項

協議事項については、設置要綱第6条に基づき会長が議長となり、議事進行を執り行う。

（会 長）

それでは、事務局に替わりまして、議事の進行をさせていただきます。

はじめに、協議事項（1）の地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の実施について、事務局から説明してください。

（事 務 局）

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の実施について説明

（会 長）

ただいま説明のありました内容につきまして、ご質問・ご意見はございませんか。

(委 員)

応神ふれあいバスの系統別の目標人数と実績を教えてください。

(事 務 局)

2系統全体で目標人数を立てており、系統ごとの目標はございません。系統別の利用者数につきましては、事業対象期間（H27.10.1～H28.9.30）とは半年ずれはありますが、平成27年度（H27.4.1～H28.3.31）の数字でいきますと、マルナカ成長店ルートは1,811人、キョーエイ北島店ルートは2,873人、合計4,684人の利用実績がありました。

(委 員)

系統別に目標を立てて、ブラッシュアップしていく必要があると思う。

(会 長)

ほかにご意見もないようですので、事業評価については、案のとおり、ご承認いただいてよろしいでしょうか。

(会 場)

異議なし。

(会 長)

ありがとうございました。それでは、承認いただいた内容で国に提出したいと思います。続きまして、協議事項（2）運転免許自主返納高齢者への路線バス運賃割引の実施について、事務局から説明してください。

(事 務 局)

運転免許自主返納高齢者への路線バス運賃割引の実施について説明

(会 長)

ただいま説明のありました内容につきまして、ご質問・ご意見はございませんか。

(委 員)

市バスは70歳以上の人ほとんど無料なので、所得制限で市バス無料乗車証を持たない人は対象になるのか。

(事務局)

65歳から70歳の人メインになってくるのではないかと思います。70歳以上で市バス無料乗車証を持たない人も、この運賃割引の対象になります。

また、市バス無料乗車証は今までどおり利用できますし、無料乗車証の適用がない徳島バスの直営路線に半額で乗車できるようになることから、利便性は向上するものと考えております。

(委員)

回数券は別のデザインになるのか。

(事務局)

別のデザインの回数券は発行せず、降車時に証明書を提示いただき、回数券でお支払いの場合は、半額分の回数券を運賃箱に入れていただくようになります。

(会長)

本日の議事につきましては以上でございますが、その他、ご意見・ご質問がございましたらご発言をお願いします。

(委員)

南部循環線などの循環線の新設による効果について教えてほしい。

(事務局)

南部循環線は、ふれあい健康館への需要があり、平成27年度の利用者数は中央循環線・南部循環線・山城線の合計で100万人、南部循環線は36万人となっております。右回り、左回りのどちらからも行けるようになり、便利になったとの声をいただいております。

(委員)

従来の津田・新浜方面行き・山城町行きと比べて、利用者が増えたかどうか分ければ教えてほしい。

(事務局)

収支でいいますと、南部循環線の運行前(平成22年度)は、4,600万円の赤字が運行後(平成24年度)は、2,900万円に削減されており、利用者数は約5万5千人増加していますので、循環路線化による効果は十分にあったと認識しております。

(委 員)

応神ふれあいバスは、おかげをもって平成23年12月6日の本格運行から5年を迎えることができた。平成28年12月3日、応神コミュニティセンターで名古屋大学の加藤博和准教授をお招きして、運行5周年記念講演会を開催した。

これからも応神ふれあいバスへの皆さんの応援をお願いしたい。

(会 長)

本日の議事はすべて終了しましたので、事務局に進行をお返しします。

委員の皆さんには、議事の円滑な進行にご協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

5 閉 会

以 上